

赤や黄の木々、八郎沼に映える 北斗で初の「紅葉回廊」 ライトアップも

10/23 18:16



ライトアップされ、色鮮やかに八郎沼に映り込んだ木々＝午後5時（小葉松隆撮影）

【北斗】北斗市向野の八郎沼公園で23日、初の催し「北斗紅葉（もみじ）回廊」が始まった。同日夕にはライトアップも行われ、赤や黄色に染まった木々が水面に映り込み、幻想的な雰囲気にも包まれた。

市観光協会の主催。同公園にはカエデやツツジなど、約2千本の木々が並ぶ。七飯町立大沼岳陽学校5年の藤吉絆さん（10）は、オレンジや白の光に照らされた木々を眺め、「いつもの八郎沼と違う雰囲気。葉っぱがきれいだった」と笑顔で話した。

観光協会は、春に法亀寺や松前藩戸切地陣屋跡など桜の名所を巡る、人気の催し「桜回廊」を実施。秋にも北斗市に足を運んでもらおうと、新たに紅葉回廊を企画した。

入場無料。11月8日まで。ライトアップは毎日午後4～9時。問い合わせは同協会（電）0138・77・5011へ。（菊池真理子）